

地域密着型サービスの生産性をいかに高めるか？

平成30年3月17日(土) 於:あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー16階

在宅介護事業者の全国団体である『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（略称：民介協）では、本年度、厚生労働省の老健事業の補助金を活用し、定期巡回・随時対応型訪問介護看護および小規模多機能型居宅介護の生産性向上に関する調査研究を実施しており、研究成果の報告を兼ねた講演会を3月に大阪にて開催いたします。

地域包括ケアの要となるサービスとして創設された定期巡回・随時対応型訪問介護看護、および小規模多機能型居宅介護は、その運営の難しさなどから全国的な普及啓発が進んでいない面があります。両サービスの運営のあり方を改めて考える機会として、本講演会をぜひご活用ください。

		時間	プログラム
○日時	平成30年3月17日(土)13時30分～17時00分	13:00～	開場・受付開始
○会場	あいおいニッセイ同和損保 フェニックスタワー16階 会議室 (大阪府大阪市北区西天満4-15-10)	13:30～	開会挨拶
○定員	175名(先着順)	13:35～ 15:00	講演 「介護事業の生産性向上について」 (仮題) 東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科 小笠原 浩一 教授
○参加費	無料	15:00～ 16:00	実践事例報告 「社会福祉法人協同福祉会の取組」 (仮題) 社会福祉法人 協同福祉会 理事長 村城 正 氏
○対象	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービスの経営をしている方 ・介護事業所の現場で働く職員の方 ・自治体等の福祉部局の関係者 ・介護経営の研究者、介護経営を学ぶ学生 ※当日ご来場いただいた方には、調査研究事業の成果物を進呈いたします。	16:00～ 17:00	平成30年度 介護保険制度改正・報酬改定に関する情報提供・閉会

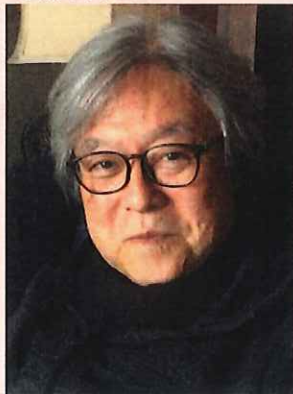
◆基調講演 講師

東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科 教授・経済学博士
小笠原 浩一（おがさわら こういち）先生

専門分野は介護経営、サービス・イノベーション、福祉政策など。

埼玉大学経済学部教授を経て現職。ラウレア応用科学大学名誉研究フェロー、(一社)日本介護福祉経営人材教育協会理事、日本介護経営学会副会長など。

主な著書に『介護イノベーション』『介護経営』『地域医療介護のネットワーク構想』『社会福祉の新たな次元』『認知症の早期発見・初期集中支援に向けたラーニングプログラム』など多数。



◆「実践事例報告」報告者

社会福祉法人 協同福祉会 理事長
村城 正（むらき ただし）氏

1950年 京都府生まれ。宇都宮大学卒。社会福祉施設（奈良県）に勤務。地域福祉の向上をめざすオピニオンリーダーとして活躍。

栃木県民生協常務理事、生協連合会北関東協同センター専務理事、株式会社CWS代表取締役、市民生協ならコープ常任理事などを歴任。

現在、社会福祉法人協同福祉会理事長。日本民主主義文学会会員。

著書に『協同センターの現状と到達点』『どうする！高齢社会日本』『海鳴りの詩（小説）』がある。

■本件のお問い合わせ先・お申込み先

一般社団法人 『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（略称：民介協）

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 兎谷ビル3階

TEL：03-5289-4381 FAX：03-5289-4382 電子メールアドレス：info@minkaikyō.info



「地域密着型サービスの生産性をいかに高めるか？」
参加申込書 (平成30年3月9日(金) 必着)

貴法人名		ご連絡先	TEL: FAX:
ご住所			

資料準備の関係上、お手数ですが参加される方全員のお名前・役職をご記入ください。

	講演会参加者 お名前		講演会参加者 お名前
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	

◆講演会会場の周辺地図



【会場へのアクセス】

- JR東西線「北新地駅」徒歩5分
- JR「大阪駅」徒歩10分
- 阪神電車「梅田駅」徒歩8分
- 阪急電車「梅田駅」徒歩12分
- 地下鉄御堂筋線「梅田駅」徒歩8分
- 地下鉄谷町線「東梅田駅」徒歩6分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」徒歩8分
- 地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋駅」徒歩8分
- 京阪中之島線「大江橋駅」徒歩7分

【会場 建物外観】

